

社会資本総合整備計画（地域住宅支援） 事後評価書

平成28年4月8日

計画の名称	1 津市社会資本総合整備計画（地域住宅計画）													
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）				交付対象	津市								
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・快適な住空間の形成</li> <li>・地域住民の生活環境の保全</li> </ul>													
計画の成果目標（定量的指標）	津市における公営住宅の外壁改修に伴う快適な住空間の形成（地域住宅計画） 空家等対策計画の策定等に必要な空家の実態把握のための調査を実施（地域住宅計画）													
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考				
							当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	※中間目標は任意				
	市内の公営住宅のうち、外壁の改善された戸数割合 (公営住宅の改善割合) = (公営住宅の改善戸数) ÷ (全公営住宅戸数) (%)						63%	70%	75%	(地域住宅計画)				
	空家の可能性がある地点(空家候補)のうち、調査を実施した件数割合 (調査済割合) = (調査件数) ÷ (空家候補数) (%)						-	-	100%	(地域住宅計画)				
全体事業費	合計 (A+B+C)	211百万円	A	211百万円 (0百万円)	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%				
<b>事後評価</b>														
○事後評価の実施体制、実施時期														
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期								
津市にて実施						計画期間終了後（平成28年4月）								
						公表の方法								
						津市のホームページにて公表								
1. 交付対象事業の進捗状況														
交付対象事業														
A1 住宅事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
								H23	H24	H25	H26	H27		
1-A1-1	住宅	一般	津市	直接	市	公営住宅ストック総合改善事業	長寿命化型改善（毎年2、3棟40～100戸程度） 白塚2棟50戸、高洲3棟72戸、藤方2棟60戸、北口2棟24戸、大井1棟40戸、城山1棟32戸 中町1棟12戸、相川西1棟18戸						195	
1-A1-2	住宅	一般	津市	直接	市	住宅地区改良事業等（空き家再生等推進事業）	空き家の実態把握調査等						16	
小計（住宅事業）											211.00			
Ac 提案事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
								H23	H24	H25	H26	H27		
小計（住宅事業）											0.0			
合計											211.00			
B 関連社会資本整備事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
								H23	H24	H25	H26	H27		
合計											0			

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考			
C 効果促進事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
								H23	H24	H25	H26	H27		
合計												0.00		
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考			

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の公営住宅において、外壁等の改善により長寿命化が図られ、既存ストックの有効活用と住環境が向上した。</li> <li>空家の可能性がある地点(空家候補)のうち、実態調査を実施したことにより、市内空家の分布及び状態を把握することができた。</li> </ul>		
II 定量的指標の達成状況	指標①(市内の公営住宅のうち、外壁の改善実施率)	最終目標値	75%	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	75%	
II 定量的指標の達成状況	指標①(空家の可能性がある地点(空家候補)のうち、調査を実施した件数割合)	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	100%	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)				
3. 特記事項(今後の方針等)				
<p>実態調査の結果を踏まえ、空家等対策計画を平成28年度に策定する。</p>				

(参考様式3) 社会資本総合整備計画

計画の名称	1 津市社会資本総合整備計画（地域住宅計画）	交付対象	津市
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）		

